

北海道畜産草地学会 第11回大会

シンポジウム

北海道におけるSDGs達成に向けた畜産草地研究 Part2

開催趣旨

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) への積極的な取り組みは、今日、国内のあらゆる産業で見られるが、農業においても例外ではない。特に酪農・畜産では、輸入穀類多給による疾病多発や生産寿命の短期化、家畜糞尿による環境汚染の顕在化等が大きな問題であり、Sustainable(持続的)な酪農・畜産の在り方について、今日まで、研究および現場で様々な取り組みがなされてきたところである。すなわち、言葉は異なるが、酪農・畜産におけるSDGsへの取り組みは以前より行われてきており、いわば古くて新しい課題といえよう。

このような背景から、本シンポジウムでは、昨年度に引き続き、これまでのわが国の酪農・畜産研究の現状を「SDGs」の視点から再整理し、SDGs達成に向け、北海道として今後取り組むべき研究の方向性を模索するため、幅広く意見交換を行う。

なお、今回は”Part 2”として各研究分野のうち、草地・飼料生産、家畜衛生および畜産環境分野の研究者の立場からの話題提供をいただく。

日 時：2022年9月3日(土) 13:30~16:15

会 場：酪農学園大学 学生ホール

共 催：(公社) 日本畜産学会

プログラム

開会の辞 13:30~13:35

話題提供(話題提供25分、質疑5分)

1. 草地の保全と持続的な利用に向けたリモートセンシング技術の活用
川村 健介 氏 (帯広畜産大学) 13:35~14:05
2. 抗菌薬使用量低減に向けた乳房炎防除戦略
菊 佳男 氏 (酪農学園大学) 14:05~14:35
3. 環境保全型農業を支えるバイオマス利用技術とSDGs達成に向けた新たな挑戦
石川 志保 氏 (酪農学園大学) 14:35~15:05

----- 休憩 (10分間) -----

4. 総合討論
座長 上田 宏一郎氏 (北海道大学) 15:15~16:15

閉会の辞